

事業コード	H26-建-継-04		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	通常砂防事業		部局課室名	建設部 河川砂防課
事業種別	砂防事業		班 名	砂防・防災班 (tel) 018-860-2519
路線名等	中台沢		担当課長名	河川砂防課長 吉尾 成一
箇所名	能代市二ツ井町仁鮎		担当者名	主幹(兼) 班長 鈴木 護
総合計画との関連	政策コード	01	政 策 名	県土の保全と防災力強化
	施策コード	01	施 策 名	健全な県土保全の推進
	指標コード	01	施策目標(指標)名	地震、治水、治山対策等による生命と財産を守る安全な地域づ

1. 事業の概要

事業期間	H22 ~ H29 (8年)	総事業費	4.3億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	砂防えん堤N=3基、溪流保全工L=203.0m					
事業の立案に至る背景	当溪流は、能代市二ツ井町仁鮎地区に位置し、保全対象として人家25戸や自治会館、県道高屋敷茶屋下線等を抱える土石流危険溪流である。流域内では、地形が急峻であることから溪岸侵食や山腹崩壊が発生しており、不安定土砂が河床に堆積しているため、融雪や豪雨による土石流発生危険性が高い。また、保全対象となる県道高屋敷茶屋下線は、県の第三次緊急輸送道路であるとともに、冬期には周辺道路の閉鎖に伴い米代川を渡る唯一の避難路となるため、冬期に土石流が発生した場合、仁鮎地区以外の地区が孤立する事態となる。これらのことから土砂災害による被害発生を防ぐため、事業を実施するものである。					
事業目的	仁鮎地区住民の人命と財産を保全し、土石流発生時に地区の孤立を防止するため、土石流を砂防えん堤で捕捉し、県土の保全と防災力の強化を推進する。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	310,000	430,000	120,000		
	経費内訳	工事費	241,000	355,800	114,800	
		用補費	52,000	57,200	5,200	
		その他	17,000	17,000	0	
	財源内訳	国庫補助	155,000	215,000	60,000	
		県 債	139,500	193,500	54,000	
その他		0	0	0		
一般財源	15,500	21,500	6,000			
事業内容	砂防えん堤工 溪流保全工 用地補償	砂防えん堤工 溪流保全工 用地補償			当初計画の用地取得が困難となり、溪流保全工の線形を変更したことなどにより、事業費が増加した。	
事業の進捗状況	全体計画 C=4.3億円 平成25年度末投資額 C=1.8億円 進捗率 41.8%					
事業推進上の課題	平成25年度までに難航していた用地買収が完了し、事業推進における課題はなくなった。					
関連する計画等	第2期ふるさと秋田元気創造プランにおいて、県民の基礎的な生活環境を整備するために県が継続的に取り組むべき基本政策のうち、「県土の保全と防災力強化」に位置付けられている。					
情勢の変化及び長期継続の理由	全国各地で集中豪雨に伴う土砂災害が発生しているが、県内でも人命を失う大規模な土砂災害が発生している。このため、ハード・ソフト一体となった土砂災害対策の整備が急務となっている。					
事業効率把握の手法及び効果	指 標 名	土砂災害危険箇所整備率				
	指 標 式	概成箇所数/危険箇所数				
	指 標 の 種 類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目 標 値 a	25 %	データ等の出典	河川砂防課調べ		
	実 績 値 b	24.1 %				
達成率 b/a	96.4 %	把握の時期	平成26年3月			

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項 なし
	②指摘事項への対応 なし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	土石流が発生した場合には、仁鮎地区の人家25戸や自治会館、冬期に唯一の避難路となる県道や市道等多くの施設が被災し、それらが沢出口に近いことから土石流直撃の恐れもある。平成25年8月には土砂流出も発生しており、砂防設備に対するニーズは高い。	20点
緊 急 性	溪流は流域の途中で3本に分かれ、それぞれの支流で山腹崩壊や溪岸侵食による荒廃が進み不安定土砂が発生していることから、土石流発生危険性は高い。平成25年8月には土砂流出が発生しており、斜面や溪流に危険性の低下は見られない。	10点
有 効 性	砂防えん堤等の設置により、多数の保全対象を保護することが出来るため、有効性は高い。また、駐在所の廃止に伴い民家に払い下げられたものの、保全対象数に変化はなく、事業の有効性に影響はない。	10点
効 率 性	事業の費用対効果は4.27であり、効率性は高い。また、工法上の問題はなく、工事に着手することが出来れば順調な進捗が見込まれる。コスト縮減についても、コンクリートえん堤に残存型枠を利用するなどの取り組みを進めている。	30点
熱 度	地元要望は強いものの、溪流保全工の線形など個別案件について問題が発生し、事業の進捗は遅れている。しかしながら、平成25年8月の土砂流出を受けて砂防設備に対する地元意識が高まっており、用地取得も完了したことから、今後は順調な進捗が見込まれる。	20点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 地元からの要望が強く、各項目から本事業は高く評価できる。	90点
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止 事業実施は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 砂防課所管事業

事業コード(H26-建-継-04)
箇所名 (能代市ニツ井町仁船)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	県民のニーズ	変化なしまたは増加している	20	20	
		若干低下している	10		
		非常に低下している	0		
	計	20	20		
緊急性	危険度	変化なしまたは増大している	10	10	崩壊進行、地下水位上昇等 地下水位低下、残斜面安定
		若干低下している	5		
		非常に低下している	0		
	計	10	10		
有効性	災害発生時の影響	変化なしまたは増加している	10	10	
		若干減少している (80%以上)	5		
		非常に減少している (80%未満)	0		
	計	10	10		
効率性	事業の効率性・進捗状況	1.0以上	10	10	
		1.0未満	0		
	費用便益分析 (B/C)	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	10	10	
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	5		
		課題はあるが、解決する見込みである	3		
		課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0		
	コスト削減計画	具体的なコスト削減計画がある	10	10	
		具体的な計画はないが、検討中である	5		
コスト削減計画無し		0			
計	30	30			
熟度	地元の協力状況	計画どおり進捗している (100%以上)	10	0	用地、補償物件等
		概ね計画どおり進捗している (70%以上100%未満)	5		
		計画より遅れている (70%未満)	0		
	事業の進捗状況	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	20	20	
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	10		
		課題はあるが、解決する見込みである	5		
課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0	0			
計	30	20			
合計			100	90	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		